

法政大と学習院大の
学生が集客策を発表

ハウステンボス

【佐世保】法政大と学習

院大の学生が六月二十九、
三十の両日、佐世保市の
ハウステンボス（HTB、
東園基宏社長）で、ゼミの
研究で取り組んだHTB
の集客増対策を発表した。

法政大経営学部と学習

院大経済学部のゼミの計
約七十人。学習院大のゼ

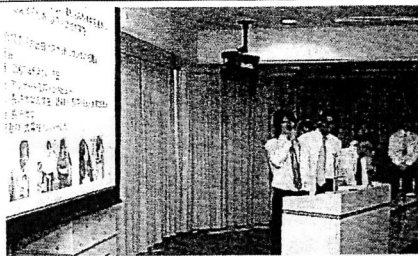
ミで教えている上田隆穂

教授が、同大卒の東園社

長と知り合いで、HTB

での調査が実現した。

二日間で七つの研究班
が発表。うち、法政大の
一チームは、県内の女子
大学生に焦点を当て調査。
アンケートで「恋人との



集客策を提案する学生

「ハウステンボス

特別な日にHTBに出掛
けたい」との回答が八割
近かったことから、場内
に隠されたハートを二人

乗りの自転車で探すなど
のアイデアを提案した。
発表を聞いた東園社長

は「私たちは費用対効果
を考えるとためらいがち
だが、学生らしい視点で
的確な指摘もあった」と
話した。